

広陵



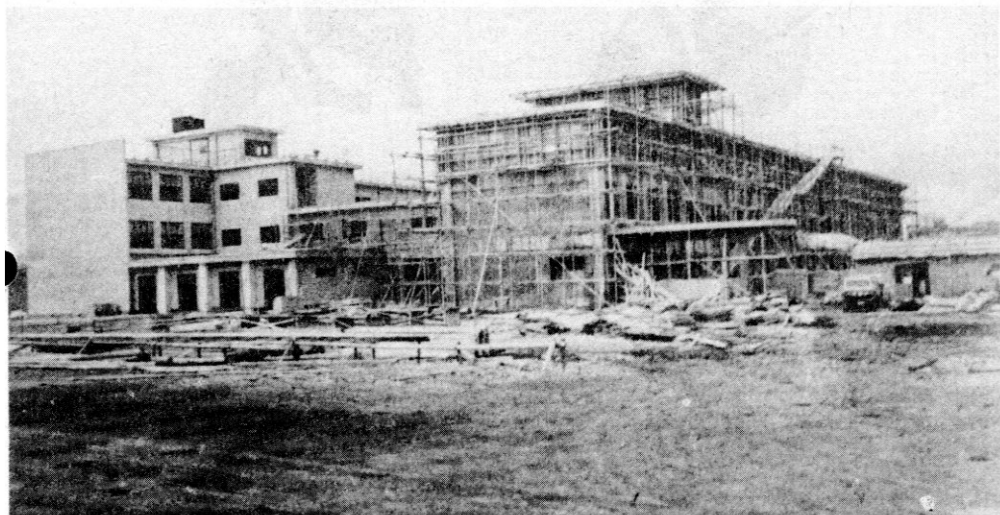
第17号

63. 7. 20

63年度 総会

8月28日(日)

神奈川県立秦野高等学校同窓会々報



建設中の新校舎、左・第2棟、右・第1棟（昭和36～37年）

同窓会々報 第17号 目次

表紙 題 字

写真（全紙面）「梶山写真スタジオ」

宮本 信義（中5）

梶山 敏之（高17）

総会のご案内・六十三年度事業計画	1
予算案・決算の報告	2
会長就任にあたって	3
力のある生徒を目指して	3
支部だより	4・5・6
同期会だより	7・8
二六会と夕暮、秦野高校と前田夕暮（寄稿）	9
卒業生の近況	10・11
進学カルテ（進学状況）	12・13
母校からこんにちわ（部活動だより）	14・15
60周年記念事業醸金者名簿	16
同窓会林について	17
同窓会役員紹介・その他	18

～ 総会の御案内～ 昭和63年度秦野中・高同窓会

“秦野”でお会いしましょう!!

— 秦中高卒業生15,000有余のみなさん —

総会日時 8月28日(日) PM 1:30 から
 総会々場 なでしこ会館 (秦野駅前農協ビル内)
 秦野市今川町1-3
 TEL. 0463 (82) 6111

※ 駐車場はありますが、車はご遠慮ください。

総 会 日 程

- PM 1:30 受付
 2:00 総会
- 62年度事業報告及び決算報告
 - 63年度事業計画及び予算案審議
 - その他
 - 記念講演:
 早稲田大学教授・大畑弥七氏
- 懇親会 (参加者 3,000円)

総会のご通知

会長 杉山 健

定例総会が八月二十八日秦野で開催されます。各幹事さんが開催時期・方法についていろいろ論議した結果別記のようになりました。秦野地区支部の諸兄が設営してくれました。どうか会員諸兄の多数のご参加をお願いします。

昭和63年度事業計画

- 一、幹事会、総会の開催
- 二、会報第17号の発行
- 三、支部育成強化と会費納入の促進
- 四、名簿販売
- 五、在校生活動支援
- 六、記念造園の整備
- 七、造林調査
- 八、慶弔
- 九、その他

昭和62年度事業報告

5月3月 激励費支給
 ○県大会ベスト8

○関東大会出場
 庭球 8名
 陸上 2名
 弓道 6名
 女バレーボール 13名
 柔道 27名
 陸上 2名
 計 37名
 計 42名

○全国大会出場
 尚、10月25日(日)校内1万米競走、2月19日(土)部対抗
 駅伝に賞品を送る。

- 5月16日(土) 幹事会(予・決算、事業報告・計画) 出席25名
 会計監査
 5月30日(土) 会報委員会開催
 6月28日(日) 造林調査
 7月11日(日) 指名委員会開催
 8月30日(日) 同窓会総会開催(小田原・だるま)
 9月29日(日) 三校(本校・大秦野・伊勢原)同窓会親睦会
 11月14日(土) 会長・副会長・支部長会議
 11月25日(水) 造園整備
 11月30日(日) 広陵広告掲載に関する会議開催
 1月1日(火) 母校卒業生、新会員四九四名を迎え入れる
 右記の他、年間を通じ、慶弔、プラスチックバンド部への助成などを行なう。

昭和62年度 決算報告

昭和63年度 予算案

◎ 歳入の部

項目	62年度予算額	62年度決算額	増減(減=△)
前年度繰越金	978,945	978,945	0
卒業生入会金	932,000	932,000	0
会費	1,300,000	2,212,400	912,400
雑収入	50,000	228,249	178,249
60周年記念事業立替金	1,239,804	1,239,804	0
合計	4,500,749	5,591,398	1,090,649

◎ 歳入の部

項目	63年度予算額	62年度予算額	増減(減=△)
前年度繰越金	1,472,184	978,945	493,239
卒業生入会金	986,000	932,000	54,000
会費	1,600,000	1,300,000	300,000
雑収入	160,000	50,000	110,000
60周年記念事業立替金		1,239,804	△1,239,804
合計	4,218,184	4,500,749	△282,565

◎ 歳出の部

項目	62年度予算額	62年度決算額	比較(超=△)
会議費	410,000	398,120	11,880
総会費	250,000	133,200	116,800
幹事会費	100,000	108,250	△ 8,250
委員会費	60,000	156,670	△ 96,670
事業費	2,916,000	2,850,334	65,666
支部育成費	260,000	255,350	4,650
在校生活動振興費	650,000	598,000	52,000
ブラバン助成費	200,000	200,000	0
造林調査費	50,000	35,035	14,965
森林組合賦課金	6,000	4,000	2,000
造園維持費	200,000	110,000	90,000
慶弔費	150,000	174,910	△ 24,910
会報発行費	1,400,000	1,473,039	△ 73,039
事務費	230,000	278,030	△ 48,030
事務局費	200,000	200,000	0
通信費	20,000	65,790	△ 45,790
印刷費	10,000	12,240	△ 2,240
通常会計積立金	500,000	500,000	0
予備費	444,749	92,730	352,019
合計	4,500,749	4,119,214	381,535

◎ 歳出の部

項目	63年度予算額	62年度予算額	増減(減=△)
会議費	450,000	410,000	40,000
総会費	250,000	250,000	0
幹事会費	100,000	100,000	0
委員会費	100,000	60,000	40,000
事業費	2,892,000	2,916,000	△ 24,000
支部育成費	260,000	260,000	0
在校生活動振興費	650,000	650,000	0
ブラバン助成費	150,000	200,000	△ 50,000
造林調査費	50,000	50,000	0
森林組合賦課金	2,000	6,000	△ 4,000
造園維持費	130,000	200,000	△ 70,000
慶弔費	150,000	150,000	0
会報発行費	1,500,000	1,400,000	100,000
事務費	240,000	230,000	10,000
事務局費	200,000	200,000	0
通信費	30,000	20,000	10,000
印刷費	10,000	10,000	0
通常会計積立金	200,000	500,000	△300,000
予備費	436,184	444,749	△ 8,565
合計	4,218,184	4,500,749	△282,565

(62年度歳入総額) (62年度歳出総額) (次年度繰越金)
 5,591,398 - 4,119,214 = 1,472,184

通常会計積立額	500,000
---------	---------

(*) 歳出項目で不足を生じたとき、通常会計積立金より流用補充することができる。

同窓会館積立金	
61年度までの積立金	8,117,672
62年度積立金	3,663,729
62年度合計積立額	11,781,401

会長就任に当って

同窓会長 杉山 健



会員のみな様には益々お元気で活躍の事と心からお喜び申し上げます。

さて昨年八月三十日小田原「だるま」会場で開催されました六十二年度総会の席上で各位のご推挙を頂き能條会長の後を引きついで第十代の会長の重責を負うことになりました。

前能條会長は六十周年記念事業を立派に遂行された名会長でしたので、その後をうけついで、果してみな様の二期待にそえるかどうか心配しております。

まことに浅学非才至らぬ人間です
がよろしくお願い致します。

副会長の方々に、六支部の支部長さん校内幹事さん並びに一般幹事さんそれに一万五千有余の会員のご指導ご支援ご協力により歴史に輝く母校の同窓会の尚一そのの充実のため一生懸命頑張る覚悟でございます。同窓会の目的は規約

第一条に会員相互の親睦を図ると共に母校の健全なる発展に貢献することあります。従って同窓会が行う年一回の会報発行、総会の開催その他の事業もこの実現にあります。

会員名簿をご覧頂くときよく分りますが、同窓の各位にはあらゆる分野で、それも国内は勿論国際的にも活躍の方々が多数おられます。まことに心強い限りです。又母

校は校長先生以下諸先生のご指導考えております。次に今回で第七号の会報の発行になりますが「さて校内幹事のお骨折で年一回、会報研究委員会」を設置して検討したいと考えております。又新しい試みとして有志の広告掲載しております。この費用は決算書の介してみな様に安心してご利用願っております。地元の秦野・伊勢原支部では、役員のご努力で会費を集めています。他の支部職場等でもどなたかのお骨折を頂けたらと

就任の「あいさつ」とさせて頂きます。

力のある生徒を目指して

学校長 相田 盛 二



校のためにお力を頂き、厚く感謝申し上げます。

お陰様で、進路状況も年々と飛躍し、また、部活動や文化活動など

同窓生も、県内はもとより、関東、全国の皆様方へとその活躍を上げております。

何かと本生は11クラス、五二八名を数え、全校で一四六六名、開校以来最大の生徒数となりました。また、一、二年は増えつつけることが予想されていきます。秦高にとっては、新

たな体験を迎えようとしています。学校は、将来展望をしっかりと見据えた運営をしていくことが大切ですが、それにしても、今日の社会変革には目ざましいものがあります。情報化社会、国際化社会、或いは生涯学習社会など、こうした時代を、個性豊かに乗り切り、一人一人が生甲斐をもち、創造的な活動ができるためにも、力のあ

る人間の育成が望まれています。そしてそこには、知力、体力、更には、自己確立のもてるものが、一層必要になってきます。

前回にも述べましたが、本校の生徒は、素直で可能性をいろいろともつ者ばかりです。そして、どのような社会環境にあっても、十分に対応のできる主体性を身につけさせるためにも、今以上に、教職員が一体となって生徒の指導に取り組むつもりです。

どうぞ、これまで以上に、学校生徒へのご支援を、宜しくお願ひ申し上げます。

支部だより

東京支部

秦高同窓会東京支部(別称「広畑会」)は、旗揚げをして四年となりました。この便りはその後の本誌に、その設立までのいきさつを含めて掲載されていますが、なおご存知ない同窓生のために、その概要をお伝えします。

当支部は、東京都 千葉、埼玉県、及び神奈川県東部の地域に住住・在勤する本校卒業生で、入会希望の方を会員とし、現在の総員は約三〇〇名、会則もあり、名簿も二年に一度の総会及び懇親会に配布しています。

会長は旧中七回の須山喜一(東大卒、サンウェーブ工業社長)、副会長は旧中一六回の柳川寛治(早大卒、参議院議員、ほかに各卒業年度の一・二名を幹事として連

絡網を配し、最年長は旧中三回、若卒年は高三三回ですが、前身「在京広畑会」の母体であった高一回(旧中二〇回、高二回(旧中二回)が多く、若年層が少ないのが問題点といえましょう。会員の中には、大学教授、医師、アナウンサー、会社社長、役員など、多士済々の方が広畑ヶ丘を偲びつつ活躍しております。

後は母校在校生や同窓会の発展、飛躍のため色々な形で協力をお願いし、所存です。

当支部の事務局は、新宿区西新宿一―二三―一「新宿千葉ビル六階」深田法律事務所(電話〇三―三四四―一五五八九)にあり、入会受付、名簿発送などの事務を担当しております。

深田源次(中21回)

62年度の同窓会決算から会費の徴収状況を見るに、秦野支部扱いが全体の約50%、金額にして114万円程を占めている。これは支部役員、とりわけ地区に細分化された多くの地区委員の方々の協力、とりわけ地区に細分化された多くの地区委員の方々の努力に起因するところが大きい。

秦野支部

内容、先づ役員構成として、顧問、支部長1名、副支部長若干名、地区長6名、副地区長6名、地区委員必要数名、事務局1名、会計1名、監事2名で、会議としては、役員総会(最高議決機関)意見が寄せられ支部に報告される。役員会(重要事項審議)地区委員機関誌「広陵」の編集問題、会費の使途状況、年会費の廃止と終身会費制の導入、総会の見直し、学校援助金のあり方、会員対象事業の軽重問題等々、これら一人一人の会員の見解を今後どう本部が対応していくか、支部としてどう扱ったらよいか、が課題となっている。



COMBOX IS THE LATEST NEWS



代表取締役 鈴木 福蔵 (中・第4回卒)
 専務取締役 鈴木子守氏 (高・第18回卒)

株式会社 島 半 TEL 82-2210
 島半コンボックス246 秦野店 TEL 81-2200

及び地区委員会の運営活動費は会員還元金の10%ずつを充てるとするもので、ねらいとするものは地区委員活動を活発強化しようとするもの。

現在6地区で役員を人選中で新規約のもと支部活動の充実と発展を期待して近く始動する。といっても支部の悩みを多く抱えている。

中年・若年層会員の同窓会への関心度の低さ、会員意識の稀薄さ、五千人近くになる支部会員対象の事業化問題など、役員の支部活動に終始することなく、会員の絆を繋ぐ何かを模索しているところである。

榎本圭治 (高2回)



併し今は東海大学創立以来山は崩され家は軒並み建ち並び学生の往来繁しく昔の面影更にない。又、今の人が聞くと笑はれるか

伊勢原支部

鳥鳴きと云っても今の若者はご存知ないかも知れないが、東海大

学駅より県道へ出ると大きな坂が下校の寄り道でもあった。こゝを今通る時想い出すのは毎

日家から歩いて通学、夏の暑い日は鬱蒼と生い繁った雑木林の中で涼をとり蟬時雨を聞き乍ら楽しく談笑し過ぎた思い出が蘇ってくる。

又、当時故福地大尉教官から聞いた話だが、この県道を矢倉沢往還と云い、ドイツの戦略家メツケルと云う軍人を招いて図上演習をした時、こゝは難攻不落な重用地点であると指摘され、以来こゝをメツケル台地とも云われたところである。

も知れないが、或る日親爺に自転車を買ってくれと頼んだところ、馬鹿もそんな贅沢を云うのなら学校を諦めろと、どならせさせと一里の道程を歩き通したものである。

それが一人だけなら未だしも徒歩通学が大勢居たので大して苦にならず楽しく本を読み乍ら通った想い出が走馬燈の如く走り去る。その学友も最早や七十二歳の老境である。その中には矍鑠たる者も居れば病床に伏す者もいる。

健康の有難味を感じる今日この頃、病友の一日も早く回復再起を願ひ、又逢う日を楽しみにしている。

今年の秦校同窓会は、秦野が当番である。一人でも多く参加される事をお願いし御案内します。

山上日脩 (中六回)



学校を卒業して以来ついで疎遠になってしまった私が、欠員になっていた支部長を引き受け、早いもので一〇年ほどが経過した。当時私は永年の勤務から解放され、高令化社会の一員として過すことになるが、先づ自分の健康を第一に考へボケ防止のためにも、地域社会に貢献しようなど殊勝にも考へていた頃であり、簡単に応じてしまった。引き継ぎを受けた書類は一枚の組織図であった。各地区別に参与、期別の幹事、顧問、役員等々の氏名が記されていたが、大分古いようだが、規約はないが、本部規則を準用すればよい、同窓会なのだから形式張らずにやりましようとのことでした。支部を代表して本部の会合に出席するようになりましたが、私自身は、連絡員の気持ちでした。本部の事業計画には毎年「支部育成」が掲げられ

平塚支部

学校を卒業して以来ついで疎遠に

なってしまった私が、欠員になっていた支部長を引き受け、早いもので一〇年ほどが経過した。当時私は永年の勤務から解放され、高令化社会の一員として過すことになるが、先づ自分の健康を第一に考へボケ防止のためにも、地域社会に貢献しようなど殊勝にも考へていた頃であり、簡単に応じてしまった。引き継ぎを受けた書類は一枚の組織図であった。各地区別に参与、期別の幹事、顧問、役員等々の氏名が記されていたが、大分古いようだが、規約はないが、本部規則を準用すればよい、同窓会なのだから形式張らずにやりましようとのことでした。支部を代表して本部の会合に出席するようになりましたが、私自身は、連絡員の気持ちでした。本部の事業計画には毎年「支部育成」が掲げられ

一赤ちゃんからお年寄までの医療をめざす一

くすり十全堂

本店/秦野市本町2丁目5番6号
—片町通り第一生命前—

☎0463(81)0031(代)

大根店 ☎0463(77)3271
大根店 ☎0463(78)0623
大根店 ☎0463(78)6231
大根店 ☎0463(87)1560
大根店 ☎0463(83)0030

代表取締役 佐野友保
(高・第18回卒)

ており、秦野、伊勢原地区では、広陵の配布と年会費の集金が会員の手で行なわれているため、平塚でもお願いしたいなど早速の課題に当惑する。現在平塚では学区外だが在住の同窓生は数千名を数える。会報は個人宛に郵送され、会費は振込みの方法がとられている。

都市化された今、果して小地域別にまとめることが出来るかどうか、幸い戸倉豊三氏(中五)の二努力により、地域組織第一号が誕生した時には、ほっとする。事の成就是一朝には出来ず気長にやることとした。

母校創立六〇周年の記念事業昂奮さめやらぬ今日、未だ醸金が続いていると聞き、フリーでも母校愛次第など思ふ。過去の反省に立って、会を存続させるには、目的なり事業、役員等取り定めの必要を痛感し、本年二月、支部規約の制定を協議し賛同を得る。その後数回検討会を開き第一回総会を催すことが出来た。私に交代して山

川彰藏氏(中17)が新支部長を引き受けてくださることになりました。不敏な私が重責を大過なく送ることが出来たのは、山川氏の援助があったからであり心から感謝しています。又一方会運営に御協力いただいた皆様に厚く御礼申し上げます。

小西 登(中10回)



茅ヶ崎支部

支部便りと云っても小生にとつては、六十周年記念祭以後、殆んど支部活動に参加せず、漠然と今日まで来てしまった事を、誠に申し訳もな思っています。今後は新支部長に協力して同窓会発展のため微力を捧げたいと思います。最近いろいろの仕事、特に地域社

人会、子供会等諸団体に関係している。小生にとっては矢張りコミユニケーションが大切な役目を果たしている事を痛感しています。それによって地域の人々の交流出合いがあります。矢張りかつて母校に学んだと云う事だけで親密感を抱き、たのしく会合を、持つ事が出来るのは幸せと思います。さて、小生も母校同窓会の一幹事として若干微力を捧げてまいりましたが、本年をもってお役御免となります。学校当局並びに同窓会諸兄の御厚情に深く感謝致します。今後は当支部の発展のため働きたいと思ひます。とりとめもなく認めましたが母校並びに同窓生皆様の繁栄を御祈り致します。五月晴阿美利の山は厳然と

関野 勇(中9回)



～ 秦野地区会費徴収状況 ～

S62・4・1 ～ S63・5・31

本町地区	東地区	西地区	南地区	北地区	大根地区
299,500	236,000	106,000	276,500	94,500	129,500

合計 1,142,000

木村運送株式会社

木村 収 治(中7回)

〒254 神奈川県平塚市錦町 22-7
電話 (0463) 21-2460(代)

中第十二期 級友会の現況

昭和十五年三月、希望に燃えて
広畑ヶ丘を巣立った我々中第十二
回卒業生は、準卒業生を含めて、

七十七名であったが、太
平洋戦争で十二名の級友
が祖国に尊い生命を捧げ
た。また、卒業後不幸に
して病没した者は十五名
で、消息不明者三名を除
き、現在の会員は四十七
名である。

よりだ同期会

終戦後、小グループに
よる数回の同期生会が開
かれてはいたが、本格的
な同窓会を持ったのは昨年からで
ある。唐津祥也君・梅原福司君等
秦野在任の諸君の呼びかけで、昨
年一月、発起人会を平塚で開き、
計画を立案し、当時五十名の消息
を確認して参集を呼びかけたところ、
三十名が出席した。会場とな

った平塚には、遠く県外からも集
まり、四十七年振りの再会を大い
に楽しんだ。何しろ一番閉口した
のは受付係だった。当時の紅顔可
憐の美少年も、夫々光頭、或いは
白髪のお紳士に変身し、顔と名前
が一致しない。そこで秘密兵器が
登場した。それは卒業アルバム
の顔写真のコピーを貼りつけた名札
である。よく見ると、何処か面影
が残っているし、来会した級友が
「これは俺だ」と自分で名札を取
り上げる一幕もあって判明する度
に大笑いとなった。会は、死去級
友への黙禱、経過報告と協議、乾
杯、自己紹介、懇談、校歌合唱と
続いて、夫々が戦争、荒廃、復興
そして繁栄の祖国と共に歩んで来
た喜怒哀楽の幾星霜を語り合い、
時のたつものも忘れた正に、春宵一
刻値千金の思いであった。

二十名の参加を得て賑やかに行わ
れた。両先生には、御高齢とは思
われぬお元気で、有意義なお話
を賜わり、級友一同、当時を偲ん
で感慨新なるものがあつた。前回
席者の面々は何れも元氣そのもの
で、現役の実業家、経営者、教
育者、研究者、自営業者なども多
く、文字通り東奔西走、世界中を飛び
回っている者もあり、また功成り
名遂げて悠々自
適の生活を送っ
ている者、名譽
職や社会奉仕に
情熱を燃やして
いる者等多士濟
済である。



中 12 期 級 友 会
前列向って左・二人目より
福地喜雄先生・辻田正己先生

は、各人の経歴放送が中心であ
ったが、今回は先生を囲んでの思
い出話や、カラオケ、ダンスなど
も出て大いに盛り上った。欠席者
には病氣療養中の者も多いが、出
幸に在じます。福山善雄記
（聖マリアンナ医科大学理事）

直ちに通報できたことは可とした。
終りに、我が級友会の結果を通
して、母校の発展に寄与できれば
この度は、会員
の「緊急電話連
絡網」を編成し
たが、その初利
用が会員の死去
の連絡であった
ことは悲しい。
しかし、全員に

株式会社サクラ書店

代表取締役 高橋誠一（中20回）

広陵一九会 意気天を衝く

秦野中学昭和十九年入学相当の同期会を「広陵一九会」と称する。カッコヨク「第何回卒」とか「何年度卒」とか名乗りたいところだが、広畑が丘で過ごした時期が悪かった。中学四年終了、五年卒業、高校第二回卒業、その上疎開で出たり入ったり、同窓会名簿のあちこちに会員が点在して大変。やむなく十九年入学にちなんでいる。

隔年に熱海、鶴巻等で一泊、恩師を御招待して盛大に会を催す。会員は多士済々、会社社長は掃いて捨てるほど、作家、弁護士、新聞説教委員、もろもろが六、七十人日本各地から集まって来て、往時の悪童にかえってバカ騒ぎをする。お迎えが近くなったから毎年開催しろの、芸者衆が少ないのとウルサイことウルサイこと。幹事長は平塚の相模屋海苔店社長山

田重雄。トラブルは幹事長が一にらみすれば雲散霧消、楽しくて楽しんで、夏の夜はあつという間に明けてしまう。

今年には平塚地区が当番。山田幹事長が、すでに旅館の手配を終え、秘策を練っている最中。秦野高校の同窓会の中でも、もっともまとまりのよい同期会と自負している。

諸星英男記 (白山高校校長)



十九年 広陵一九会 新伊豆山 昭和十九年四月 三十一日

中二〇回 同期会

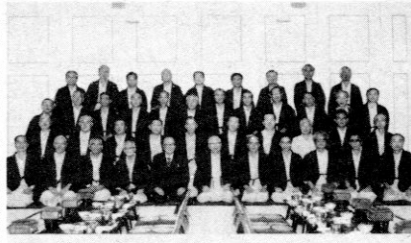
「十六夜」と書いて「いざよい」と読む。十五夜の月より遅く、いざよとその情趣深き月等と杉山長風先生に教えてもらったことを思い出す。お褒りありませんか。釜利谷で終戦を迎えて、はや四十余年、我々は今又、円高という世界経済戦争に遭遇してしまっ

た。しかし、どんな苦しい時でも友情があれば人生は楽しい。御無沙汰勝ちの友には格別に会いたいのだ。集いは秋も深まる頃、酒もうまい。

これは昨年十一月開催の案内文で、当番制平塚地区幹事の原文を披露した。

さて編者の依頼による「同窓会」が卒業以来続いている理由だが、分析すれば次の通りと思考する。

- 一、当番制地区別幹事会による平塚地区幹事神部禎夫記
 - 二、開催時に欠席者からの連絡文で大きな異動を必ず知らせる。
 - 三、特に学生時代の苦しかったこと、楽しかったことをテーマ化して話し合う。
 - 四、当日晝間、有志グループ会開催等。
- 準備秦野・小田原・平塚で
(パイロット) 万年筆社長



中二〇回 廣陵一九会 昭和二十年四月 三十一日

込山 両先生 ご栄転

このたび、込山英雄先生には果立秦野富屋高校へ、石原春男先生は指導主事として神奈川県教育庁学校保健課へ、それぞれ四月一日付をもってご栄転されました。

込山先生は勤続28年、石原先生は13年という二両人共校内幹事の重鎮で、込山先生には長年庶務のお仕事をして頂き、特に60周年の折は、式典委員として、会場設営、除幕式の準備など、一切取り仕切って頂きました。

また石原先生には土屋先生ご転出後、会報編集の主力として、原稿依頼、校正、編集などにご尽力頂き、60周年の折には、教材園委員として、設計から完成まで、業者との折衝その他にたいへんお力添えを頂きました。二両人の転勤に当り心からご苦労さまでたと申し上げ、感謝の意を表します。

寄稿

二六会と

夕暮歌碑

須山和成 (高3回)

二六会とは昭和二十六年卒業生と二十三年併設中学卒業生合同の同期会である。去る十一月七日に久しぶりに地元大川楼で開かれた会には、幹事諸君の御盡力により五十余名が出席し、恩師の先生方も、伊佐山先生、石井久藏先生、露木先生、飯田先生、澁谷先生にお目にかかることができた。会はカラオケも入るにぎやかな中で、校歌を合唱して中じめとした。

会が始まる前に私は母校を訪れたが、土曜日の午後とて、資料室を見られなかったのが残念だった。いつでも見られるような便宜をお願いしたい。しかし校門脇に建て

られた夕暮の歌碑は見ることできた。弘法山に夕暮の歌碑を建てようという話は二六会の連中が高三のときにもち上ったもので、碑は卒業後在校生の奉仕もあって、二十六年七月に除幕された。このとき夕暮が最初に選んだ歌は、まなかひに朝の富士あり天雲をつらぬきて高くそびえたるかも(傍点筆者)であったが、石の都合で弘法山には、生くことの歌が選ばれたようである(詩歌三十一巻四号参照)。夕暮は碑の完成を見ず四月に亡くなっている。赤くそびえたるの歌は、富士を讃える歌集の巻頭から選ばれたときいてる。



校門脇の夕暮歌碑

秦野高校と

前田夕暮

野村昌平 (高5回)

夕暮を生みし学舎ぞ今日は子の父として校歌胸熱くうたふこの一首は、久保寺富男氏の作で、今年の夕暮祭の第一位の作品である。前田夕暮が九十年前に学んだ

秦野高校に、今また作者の長男が学ぼうとしている。父親として、万感胸に迫りながら、校歌を歌っている作者の心境が素直に表出されている一首と言えよう。

秦野高校の前身の中郡共立中学校に夕暮が入学したのは、一八九八年(明治三十一年)十六歳の春である。今から丁度九十年前のことである。

秦野高校が、夕暮熱に燃えたのは、昭和二十六年、弘法山公園に、

生くこと悲しと思ふ山峡は
はたら雪ふり月照りにけり

の歌碑が建った年である。この年夕暮は歌碑除幕式を待たずに六十九歳で世を去ったのである。杉山長風先生、宮本信義先生はじめ、生徒会の役員たちの筆舌に尽くしがたいご尽力で、秦野の名所ができたのである。当時、在校生であった私も除幕式に参列した一人である。思い出すだに感無量。

昭和五十八年、大根公民館で行なった夕暮生誕百年記念大会のときに、大矢純夫校長先生にご来臨戴いたことも忘れられない。

一昨年、校門脇に、宿願の夕暮歌碑が建った。関係者一同に心から敬意を表した。

まなかひに朝の富士あり天雲を貫きて赤く聳えたるかも

歌集「新頌・富士」(昭和二十一年刊行)の巻頭を飾った名歌である。生前、夕暮自身、秦野の歌碑にはこの一首をとその希望を「詩歌」の昭和二十六年五月号の後記に書きのこしている。「赤く」は「高く」となっているが。

各種工作機械・自動専用機・自動組立機・汎用工作機械



株式会社 三陽商會

代表取締役 金子 尚 (中12回)

〒251 藤沢市城南 4-10-35

TEL 0466-34-1811 (代)
FAX 0466-34-1813

秦中・秦高に想う

―世代を越えて深まる同窓の絆―

(株)タウンニュース社編集長 伊藤弘通記 (高27回)

開校前夜の

苦難を乗り越えて

高田義光さん(中1回)

広畑が丘の地から、第一回卒業生を世に送り出して今年で六十年目を迎えた秦野高校。十年を一つの節目として、同窓の方々が、激動の過渡といえる戦前・戦中・戦後を、どのように生き抜いてこられたか、また、在校時のエピソードなどについても伺ってみた。

「現在の秦野高校の隆盛をみるにつけ、初代の卒業生であることを、誇らしく思っています」と後輩たちの活躍に目を細める。

青春そのもの

が戦争でした

小川康夫さん(中11回)

動乱の時代を過ごす

今、県評議議長

諸星充司さん(高1回)

綾瀬市の綾西小学校々長を最後に教職を退かれた小川康夫さん(六十七歳・平塚市在住)は、昭和十四年三月に県立秦野中学校を卒業している。卒業後半世紀を迎え、ようとしている今の心境を「もう遠い昔のことですね。私たちの世代は戦死者が多いんです。よく今まで生きてこれたものです」と話す。小川さん自身、神奈川師範を経て横浜の生麦小に一時在職。その後、昭和十七年から終戦まで戦地に赴く。「在校時は軍事教練が厳しく、戦地ではほとんど最前線と、私の青春は戦争そのものでした」と多感な青年時代を語る。秦中時代には弓道部に在籍、活躍さ

れた。「戦前の秦中は、マントに金ボタン、勉強の面でも厳しく、スポーツも柔道部などが強くて、まさしく質実剛健、文武両道の学校でしたね」と回想する。

昭和二十四年三月、第一回県立秦野高校卒業生の諸星充司さん(五十七歳・秦野市在住)は、現在全日通労組神奈川支部委員長、県評議議長として活躍されている。戦中・戦後の動乱期に秦中・秦高に通った諸星さん。「戦争中は、物資不足で戦闘機の燃料に充てる松根油を作るために松の根っ子を掘ったり、塹壕掘りなど勤労動員に駆り出され、勉強どころではありませんでした。また、終戦直後は午前中だけの授業で、歴史の時間などは教科書に墨を塗っていることが多かったですね」と当時を振り返る。ただし、昭和二十年

◆ クンシ ■ 炊飯器 ■ ビーラー ■ 消毒槽 ■ ガスレンジ

建設業一都知事許可(般-62)第1377号

厨房設備機器設計施工

東洋設備工業株式会社

代表取締役 二階堂 博史 (中20回)

本社 東京都品川区上大崎3-3-9 TEL 03(446)1391(代)

神奈川営業所 相模原市相模大野1-5-9 TEL 0427(43)5193

冷蔵庫



代当初、県下でも数少ない県立高校の生徒として毅然たるブライドを持っていたとも。卒業後、諸星さんは日本通運に入社。昭和三十一年から組合専従に。長い組合活動の中で最も印象に残っているのは、横浜国大教授であった長洲一二氏を県知事に引っぱり出したことだという。今、県労働界の第一人者として、県評議長をはじめ県労働福祉センター理事長、神奈川県協理理事長などの要職にある。

モッコを使って

プール造り

大館秀孝さん(高11回)
松田町寄で、民宿ログキャビン「しおや」を経営する大館秀孝さん(四十七歳)は、昭和三十四年三月に卒業。「当時は、木造平家建ての老朽校舎でした。プールを造るために、モッコで砂利などを運んだりしたことを思い出しますね」と語る。昭和三十年代当初の秦高は長髪禁止。大館さんの時代

東大安田講堂

事件の年に卒業

杉本和夫さん(高21回)
「高校時代、良きにつけ悪きにつけ思い出すのは一万メートルマラソン大会です」と話すのは、昭和四十四年三月卒業の杉本和夫さん(三十七歳・二宮町在住)。杉本さんが卒業した年は、東大安田講堂事件に代表されるように七十年安保闘争の真只中で、東大の入試が実施されなかった年でもあった。秦高自体には、当時学生運動

の影はほとんどなかったものの、大学入試には不安を覚えたという。杉本さん自身は都立大経済学部に入学。卒業後、東京証券取引所へ現在、二宮から東京兜町まで通勤しているが、取材に応じてくれたのが帰宅直後の午後十一時半。翌朝七時には自宅を出るというから、まさにセブンイレブンの生活。高校時代、男子校でもまれた経験が今も生きています」と頼もしい言葉が返ってきた。

心開ける友だちに出会えた!!

黒石降幸さん(高31回)

卒業十年目を迎えた黒石降幸さん(二十七歳・東京在住)は「もうそんなになるんですか。今は一流のデザイナーを目指して頑張っています」と将来に思いを馳せる。秦高を卒業して良かったことは「心を開いて付き合える友だちを得たことです」とキッパリ。明るく、おおらかな校風が好きだったという。

野球部の初代女子マネージャー

鈴木(伊奈)喜代美さん(高31回)

現在、秦野市立南中学校の教諭である鈴木(伊奈)喜代美さん(二十八歳・二宮町在住)は、秦高野球部の初代女子マネージャーを務めた。二年の時、何もわからなくて戸惑いましたけど、二年・三年と後輩の女子マネージャーが入ってき

インテグラルシステムキッチン SUNCIEL



代表取締役社長 須山喜一

中第7回卒業

母 校 か ら

寸 描

進学カルテ

- ▷ 国公立大合格者76名◁
- ▷ 久々振り現役東大合格◁
- ▷ 経済・経営系は激戦◁

進路指導部
遠 藤 清

私立大については、全国的に志願者増となり倍率も上昇して厳しい受験を強いられました。中堅私大の難化と、最近の財テクブームの影響で、経済・経営系へ志願者

が流れ、高倍率となり合格率減少の渦の中で本校生も例外ではなく、特に男子の文系で多数の浪人を余儀なくされました。受験の傾向としては例年と大差はなく、日本、神奈川、明治、法政、中央、早稲田の順に多く受験しましたが、合格者が十名以上で多い順では、日

本、神奈川、明治、専修、青山学院、法政、中央となり残念ながら早稲田は一桁の合格に終わりました。短大については、受験者が減る傾向にあり、その分四年制大受験合格者六名あり、その中には三校合格者一名、東大・京大のダブル合格者一名を含めて現役合格者の延人数が昨年比倍増の三十名となり、また浪人生も過去最高の三十七名の合格者を出すなど何かと話題の多い国公立大入試の結果でした。

次いで専門学校ですが、進学者が二十八名で、最近の四年間は二十から三十名の数で定着しているようです。その中でも医療看護系に

が流れ、高倍率となり合格率減少の渦の中で本校生も例外ではなく、特に男子の文系で多数の浪人を余儀なくされました。受験の傾向としては例年と大差はなく、日本、神奈川、明治、法政、中央、早稲田の順に多く受験しましたが、合格者が十名以上で多い順では、日

本、神奈川、明治、専修、青山学院、法政、中央となり残念ながら早稲田は一桁の合格に終わりました。短大については、受験者が減る傾向にあり、その分四年制大受験合格者六名あり、その中には三校合格者一名、東大・京大のダブル合格者一名を含めて現役合格者の延人数が昨年比倍増の三十名となり、また浪人生も過去最高の三十七名の合格者を出すなど何かと話題の多い国公立大入試の結果でした。

62年度 卒業生進路状況

コース	性別	学 大 受 験 者 (短大含)	進 学			就 職	浪 人
			大学	短大	各種		
文 系	男	153	55	0	6	3	90
	女	153	63	58	12	7	12
理 系	男	160	63	0	10	1	86
	女	28	18	3	0	0	7
合 計	男	313	119	0	16	4	174
	女	180	80	61	12	7	20
計		493	199	61	28	11	194

があり、合格率も五十%とかなり狭い門になっております。就職については、公務員三名、一般企業五名、自営三名で、企業については求人が七十五社もありましたが、中でも東京電力・小田急・横浜銀行はこの二・三年は毎年就職しています。以上が今春の進路概況ですが、当然のことながら地道に努力した

者の多くは目標を達成しています。しかし、より高い目標に挑戦する者や、力及ばずして再起を試みる者一九〇名余が来春の栄冠を目指して浪人生活に入りました。それぞれ道へ進んだ今年の卒業生もいずれは社会に出て多くの同窓生の皆さんと共に大いに活躍されることを願ってやみません。

夏、甲子園に向けて

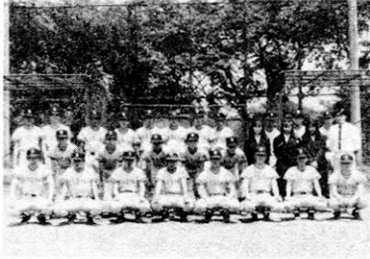
顧問 小見山 孝

野球部の顧問となつてはや四年です。

思えば長いようで短い四年間でした。例年春休みからのシーズン・インで夏の本番までに約二十試合（春季県大会と練習試合）を行い、七月十日前後から始まる甲子園直結の神奈川大会に臨みます。七月三十一日の決勝まで一日でも長く一試合でも多く戦いたいというのが二百校を越える神奈川の球児達そして秦高の球児達の願いです。八月からは全国注目の夏の甲子園大会。多くの球児はそれを横目に新チームの練習に入ります。八月の末からはもう秋季県大会の予選が始まり、春の選抜を目指すので

こんにちわ

そして秦高の球児達の願いです。八月からは全国注目の夏の甲子園大会。多くの球児はそれを横目に新チームの練習に入ります。八月の末からはもう秋季県大会の予選が始まり、春の選抜を目指すので



り、彼らにも我々にも心の奥に一生焼き付いていることでしょう。これだから高校野球は辞められないのです。この結果、春ベスト8ということで今夏は第二シードとなりました。

夏本番まであと一ヶ月。一年生からレギュラーの主将茂田、同じく一年生からマウンドに立つエー

久々の快拳!!

サッカー関東大会県予選ベスト4

顧問 小島 一雄

'88初夏

県高校サッカーは、各地区を勝ち抜いた、64チームが一月の新人中央大会で覇を競うことよって今年の幕が切っておとされる。本校サッカーは、この大会で候補と目される日藤高を2回戦で破ってベスト16、ベスト8入を賭けて対戦した。これも前評判の高い桐蔭は学園高には惜敗（その後桐蔭は準優勝）しかし、この大会で、選手達は自分達のサッカーが、県内で最も充分に通することの確かな手

熱戦の準々決勝

(於体育センター)



2-0、4月16日2回戦対大船高1-0、4月17日3回戦藤原藤沢高1-1PK4-2

で撃破ベスト8、4月23日4回戦対鎌倉高0-1PK3-1でベスト4、4月24日代表決定戦対湘南高、選手全員が一丸となったの総力戦、チームの持ち味を充分に出し切ったが無念の1-2で、悲願の代表には一歩及ばなかった。5試合戦い抜いて積み重ねた貴重な経験を礎に次の選手達はまた歩き出した。今後とも二支援、ご協力を先輩の方々にお願いして二報告とします。

母 校 か ら

大活躍!! 4×400mリレー

男子3位(6年連続) 女子2位(3度目)

顧問 石井隆士

陸上競技部はここ数年の中でも、一流の成績が残った。特に関東大会での1600m Rはその代表である。作戦は先行逃げきり。第一走者の川田剛、二走が小田誠、三走が大橋崇と三年が並び、アンカーには入学三ヶ月の一年生、岩崎貴之の布陣。この作戦がズバリの申し、第三走の大橋までは一番手を5mリードするトップでバトンが渡った。結果は第三位の3分21秒27。予選で出した3分19秒22はもちろん本校新記録であり、昭和62年度の全国ラッキングでも40位に入る記録であった。1600m Rは駅伝と同じように、スタートでできるだけ上



力走する小幡佳代子(17) 遠藤和子(25)両選手

める活躍を見せた。その他、男子の駅伝では6年連続入賞の第3位、女子は3度目の

入賞の第2位。特に11月下旬、茨城県で行なわれた関東高校駅伝では、第3区を走った戸村剛志は、14位で受けたタスキを3位まであげる1人抜き離れ技を演じた。

6年間の平均順位は15位(48校中)とまずまずの成績である。

女子駅伝においても、選手5名中4名が1年生と伸び盛りの選手ばかりで、新人戦での3種目入賞の勢いをそのまま爆発させた。年々さかになる女子長距離において本校は台風の目と言ってもよい存在である。

今年も関東大会出場4名と順調なすべり出しで、新入部員にも有望な選手が揃っており、これから行なわれる各種大会が楽しみです。

今後とも、陸上部一丸となって精進し、新聞紙上に本校の名をのせ、同窓の方々への励みになる様頑張りたいと思います。

各種コンテスト受賞で 部員一同、大いに張り切る!

顧問 飯田重明

部員数十二名、階段下倉庫を部室とする写真部だが、この一年間、各種コンテストで上位入賞し志気は大いに盛り上っている。

その走りは、昨年春の高写連主催の鎌倉・江ノ島撮影会での最高賞受賞だ。その前年、高写連に加盟し、傾向分析、撮影会予行を通じての成果だが、現部長佐藤君の作品は県下八百点中の一席で、新開始機関誌で絶賛を受け、今年度全国文化祭(熊本県)の県代表作品となった。

次に、ニコンが出す情報誌「トップアイ」応募では、前部長長玉君と前記佐藤君が各々最高賞を獲得し、カメラをもらった。この見玉君は朝日新聞の高校野球コンテストでも入選、又、平松君は写真雑誌「キャバ」で二席に入選し、夏休みにカナダへ撮影旅行に出掛



写真部メンバーの集合写真

60周年記念事業費

醸金者名簿 (62・6・1以降分)

口数・氏名・卒業期・(一口二、〇〇〇円)

卒業時の数字中 ○中学

□併設中 無印高校

5大	1磯	1笹	2中	1金	1山	1関	1尾	1山	1石	3齋	1日	1高	5武
誠	一	俊	熊	省	光	英	隆	光	三	豊	吉	徹	晴
至	之	夫	寿	一	司	世	夫	重	三	豊	吉	徹	晴
18	18	17	16	15	14	12	11	9	8	7	6	5	3
1平	1加	10鈴	5村	1園	1小	10石	1清	1服	1手	1柏	1芦	10相	1柏
瀬	藤	野	上	田	野	井	水	部	塚	木	月	原	木
正	祥	文	正	大	淳	秀	常	実	成	伊	勢	雄	博
4	4	3	2	2	2	1	1	1	20	20	20	18	18
1吉	2福	1渡	2瀧	1亀	1荻	1田	1三	1新	1章	10内	1山	1野	1吉
澤	田	辺	川	井	野	中	嶽	倉	野	山	口	川	浦
豊	郎	雄	文	裕	雄	実	男	博	美	一	秀	英	慶
20	17	15	15	15	14	12	11	10	10	8	7	7	5

1富	1齐	1内	3武	1杉	1亀	1生	1山	1谷	1鈴	1小	1大	2大	1菅	1佐	1小	1北	1金	1遠	2山	1宮	1宇	1前	1木	1石
田	藤	海	井	山	井	熊	本	口	木	清水	庭	川	野	川	坂	村	子	藤	口	越	佐	田	川	塚
め	元	晴	廣	訓	一	史	男	俊	浩	優	始	三	光	男	勉	夫	男	宏	美	豊	忠	憲	清	司
ば	秀	美	光	訓	一	史	男	俊	浩	優	始	三	光	男	勉	夫	男	宏	美	豊	忠	憲	清	司
え	29	29	28	28	28	28	27	27	27	25	25	25	24	24	24	24	23	23	22	22	22	21	21	21
2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
八	八	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七
八	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
円																								

あなたのまちのあなたの情報紙

県央・県西・湘南 / 565,000部発行



まちなま

- 小田原版 ■足柄版 ■大磯・二宮・中井版 ■平塚版
- 秦野版 ■伊勢原版 ■厚木版 ■海老名版 ■茅ヶ崎版
- 寒川版 ■宮前・たまプラーザ版 ■相模大野版

- 鈴木 茂 常務取締役 小田原支社長 (高21回) ●原 智彦 本社第二製作課長 (高23回)
- 伊藤弘道 秦野編集室編集長 (高27回) ●栗原恵司 大磯・二宮・中井編集室 (高35回)
- 渡辺康世 大磯・二宮・中井編集室 (高35回) ●中川慎乃 足柄編集室 (高37回)

本社・工場 / 神奈川県秦野市曾屋668番地
TEL 0463-82-3331(代)

小田原支社 / 神奈川県小田原市狹窪306
TEL 0465-35-3980(代)

厚木支社 / 神奈川県厚木市船子1066-1
TEL 0462-47-0710(代)

平塚支社 / 神奈川県平塚市河内517-6
TEL 0463-33-5300(代)

伐期迫る 秦高林

十四町歩

皇紀二千六百年の報国記念造林として、秦高生の手によって植林された林地は、十四町八畝であり所在地は、菩提字千間台、岩の台カラキゴ、にまたがる北財産区との分取林である。当時、北秦野村村長と秦高との間に於ける契約は、五十七年にわたる地上権の設定であり、その分取率は一対一である。昭和六十四年一月三十一日をもってその契約は終了するものであったが、近年の木材価格の低迷等を慮り財産区側の好意により、更に十ヶ年の延長がなされた処である。この事は、財産区側の役員であり、曾て本校のPTA会長でもあった、菩提の三嶽敏雄氏の尽力による所も多い。数年前、北森林組合の手で間伐をしたのであるが、手入れ不十分である為、思うような価格が出なかったと聞いている。既に五

十年を経過せんとする森林であり、面積も十四町歩という広大なものである故、この上に更に十年の年月を加えるならば大径木としての有利販売も期待出来、又、近年内地材を見直す気運もあるなかで、価格の推移による収益の向上も期待出来るのではないかと思ふ。いづれにしても、地上権の利用のみであるので、伐採後の後始末が必要ないというのも一つのメリットではなからうか。

久保寺富男記(高11回)



物故者

謹んでお悔み申し上げます

客員

今井 寛 (62・8)

会員

高3 守屋 秀一 (62・6)

中12 白井 聡一 (62・6)

中2 野崎 光雄 (62・7)

中5 志村 敏男 (62・10)

中6 荒井 敬司 (62・11)

中2 恩蔵 繁夫 (63・1)

中12 山口 清春 (63・2)

高4 梁井 章 (63・2)

中14 今井 清一 (63・2)

中2 青木 義雄 (63・2)

中13 北村 脩 (63・2)

中3 川戸 貞助 (63・4)

中7 原 良造 (63・4)

中12 三宅 幸一 (63・5)

(事務局に寄せられた分です)

(小泉記)

のれんと味

網元直営
創業明治26年

変る海

広 沢 富 正 (中9回)

DARUMA 小田原市民会館前 ☎ 0465-22-4128(代)



同窓会
役員紹介
 茅ヶ崎 金子 尚 (副会長)
 東京 須山 喜一 (副会長)
 平塚 山川 彰蔵 (中17回)
 (四六三(三)二二二)

会長 杉山 健 (中7回)
 副会長 山上 日脩 (中6回)
 (四六三(九五)三三四二)
 廣沢 富正 (中9回)
 (四六五(二)三〇〇七)
 金亨 尚 (中12回)
 (四六六(三四)一八八三)
 須山 喜一 (中7回)
 (三三〇)三六五七
 荒井 権八 (中17回)
 (四六三(三)〇二二三)

支部長 上村 相模 (中14回)
 秦野 (四六三(八)〇六七三)
 伊勢原 西野 茂次 (中5回)
 (四六三(九五)一六二六)
 小田原 柳田 敏雄 (中12回)
 (四六三(七)九四五六)

校内幹事

庶務 石井 隆士 (高25回)
 高橋 智之 (高33回)
 古部 三郎 (高7回)
 田中 洋一 (高11回)
 飯田 重明 (高16回)
 城所 全 (高21回)
 (鈴木英之) (高26回)

会報 石井 郷二 (高7回)
 北村 和一 (高25回)
 重立 正宏 (高30回)
 青木 利之 (高4回)
 小泉 広澄 (高17回)
 栗原 元彦 (中20回)

會計 青木 利之 (高4回)
 小泉 広澄 (高17回)
 栗原 元彦 (中20回)

会員名簿

好評販売中

一部 三、八〇〇円
 送料 三〇〇円別

会報研究委員会
委員募集について

会報「広陵」のスタイル、内容編集等について検討するための会報研究委員会を左記の通り設置します。委員をご希望の方は十月末日までに御申し出下さい。

記

一、委員数 十五名
 二、年三回程度委員会開催の予定
 三、研究期間 二ヶ年
 (杉山 健)

送金の方法

振替送金の場合、同封の振替用紙に所要事項御記入の上、最寄りの郵便局で御送金下さい。別に振替手数料を要します。千円までが三十円、五千円までが五十円です。なお、郵便局の受領証にて本会の領収書にかえさせていただきます。(青木記)

原稿を

お寄せ下さい

編集後記

同期会・クラス会日より、近況報告など、原稿をお寄せ下さい。送付先 秦野市下大槻一三三 秦野高等学校内 同窓会会報委員会宛

石原の転勤で、今回は編集の主力を欠いたわけであるが、幸い後任の北村(高25回)にその穴を埋めて頂き、なんとか編集作業を終えた。また、会報委員として新たにタウンニュース(秦野)編集長伊藤(高27回)を迎え、卒業生近況を取材という形で試みた。今後の全面的紙面の刷新については上記のように研究委員会を設け検討することになった。御支援頂ければ幸いです。

秦野高校同窓会

会報委員会

秦野市下大槻一三番地
 県立秦野高等学校内
 発行責任者 上村相模(中14回)
 編集責任者 石井郷二(高7回)
 重立正宏(高30回)
 電話 (四六三) 〇四二二(一)三四三
 振替口座 東京二二二六八九
 北村和一(高25回)